

TAKESHI KOBAYASHI

小林武史 米寿記念コンサート

かながわ音楽コンクール・ヴァイオリン部門前審査委員長が、
故郷の街・横浜で奏でる極上のヴァイオリンファンタジー。

2018

10/28 [sun] 開場 14:30
開演 15:00

横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場ホール

(横浜市磯子区杉田1-1-1らびすた新杉田4階、JR根岸線・シーサイドライン「新杉田駅」徒歩3分、京浜急行「杉田駅」徒歩5分)

全席指定 4,000円 スマイルクラブ会員 3,500円 (税込み)

6月15日チケット発売予定

横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場 045-771-1212 (9:00~22:00) ※チケット取扱いは21:00まで

神奈川新聞社「小林武史 米寿記念コンサート」事務局 045-227-0708 (平日10:00~18:00)

Program [曲目]

- ◆ J.ブラームス
ヴァイオリン・ソナタ第1番
ト長調 作品78「雨の歌」
- ◆ L.ヤナーチェク
ヴァイオリン・ソナタ
- ◆ 團 伊玖磨
ファンタジア 第1番
- ◆ B.スメタナ
「わが故郷より」第1番、2番

出演

小林武史 [ヴァイオリン]
Takeshi Kobayashi

1931年生まれ、鈴木鎮一氏に師事。東京交響楽団、チェコ国立ブルノ・フィルハーモニー、オーストリア・リンツ州立ブルックナー管弦楽団、読売日本交響楽団、各オーケストラのコンサートマスターを歴任。オーケストラ退団後ソロ活動に専念し、海外(ヨーロッパ、旧ソ連、北米、南米、中近東、アジア全域)に演奏旅行。著名な音楽祭に招待され出演。国際交流基金派遣の文化使節としての派遣は10回に及び、海外での青少年の指導にも力を注ぐ。桐朋学園大学、東京音楽大学講師を歴任。長きにわたり宮城県中新田バッハホール音楽院院長を務め、地域の文化振興発展に多大な功績を残した。第18回日本音楽コンクール第1位(1949)、日本音楽舞踊批評家クラブ賞(1960)、文化庁芸術祭賞(1988)、文化庁芸術祭大賞(1996)、横浜文化賞(2013)各受賞。小林武史のために作曲された作品は数多く、初演ならびに国内外でも多数演奏を行なう。室内合奏団「コレギウム・ムジクム東京」主宰。CDにエネスコ：ソナタ、マニャール：ソナタ、ファンタジアなど11枚をリリース。著書に「ヴァイオリン一挺、世界独り歩き」芸術現代社(1980)、「ファンタジア わが人生」を神奈川新聞社より刊行(2013)。他にもエッセイ等新聞、雑誌に掲載。

梅村祐子 [ピアノ]
Yuko Umemura

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ピアノ科卒業。在学中より室内楽を中心に活動を開始する。卒業後、様々なコンクールの公式伴奏者を務め、ドイツにおけるシュポア国際ヴァイオリンコンクールにおいて「ソナタ賞」及び「最優秀伴奏者賞」を受賞する。その後も国内外の著名な演奏家との共演を重ね、アンサンブルピアニストとしての高い評価を得る。また、「アンサンブル of トウキョウ」の創立メンバーとして年間の定期演奏会に出演。ドイツ公演では「ピアニストの音色は至上のアンサンブルとして溶け込んだ」と好評を博す。更に宮崎音楽祭にも度々出演し、ピアニスト、チェンバリストとして幅広く活躍をしている。そして、1994年より、自らプロデュースした室内楽シリーズを続けている。

